

平成15年3月期 中間決算説明会



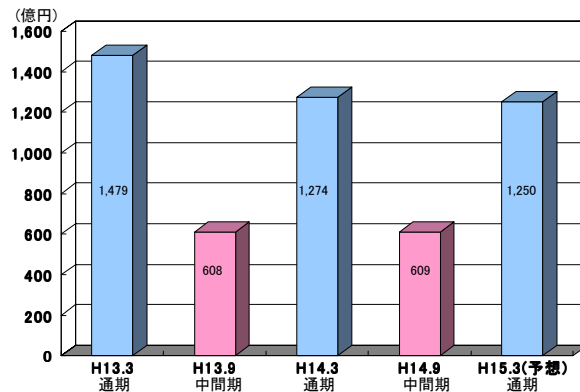
お問い合わせ先：経営企画部広報グループ(TEL：075-312-1214)
URL：http://www.nippondenchi.co.jp

平成15年3月期中間連結決算概要

(単位:百万円)

	当中間期		前中間期		増減額		増減率		通期予想	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	金額			金額	構成比
売上高	60,966	100.0%	60,879	100.0%	87	0.1%			125,000	100.0%
営業利益	△1,027	△1.7%	△593	△1.0%	△434	—			1,000	0.8%
経常利益	△1,044	△1.7%	△1,302	△2.1%	257	—			500	0.4%
当期純利益	774	1.3%	△791	△1.3%	1,565	—			0	0.0%

業績推移(売上高)



連結貸借対照表①(資産の部)

(単位:百万円)

科 目	当 中 間 期 末 (平成14年9月期)	前 期 末 (平成14年3月期)	増 減	主 な 増 減 の 内 訳
[資産の部]				
流動資産	66,172	71,573	△ 5,401	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の減少に伴う債権の減少 (日本電池△4,098百万円)
現金及び預金	7,280	9,255	△ 1,975	
受取手形及び売掛金	32,660	36,536	△ 3,876	
たな卸資産	20,399	19,098	1,301	
その他	5,831	6,683	△ 851	<ul style="list-style-type: none"> ・設備投資(4,623百万円) ・減価償却費(3,534百万円) ・設備投資の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・ジーエスエルコテック上海(1,952百万円) ・日本電池(1,168百万円)
固定資産	77,639	77,059	579	
有形固定資産	53,676	53,288	388	
無形固定資産	1,303	1,340	△ 36	
投資その他の資産	22,659	22,430	228	<ul style="list-style-type: none"> ・連単倍率1.47倍←1.42倍
資産合計	143,811	148,633	△ 4,821	

3

連結貸借対照表②(負債・資本の部)

(単位:百万円)

科 目	当 中 間 期 末 (平成14年9月期)	前 期 末 (平成14年3月期)	増 減	主 な 増 減 の 内 訳
[負債の部]				
流動負債	79,154	80,774	△ 1,619	<ul style="list-style-type: none"> ・生産高の減少 (日本電池△1,046百万円) ・日本電池(△1,337百万円)
支払手形及び買掛金	13,170	14,274	△ 1,103	
短期借入金	42,158	42,917	△ 758	
コマーシャルペーパー	10,856	8,936	1,919	
未払金及び未払費用	11,358	12,931	△ 1,572	
その他	1,610	1,715	△ 104	
固定負債	30,278	33,059	△ 2,780	<ul style="list-style-type: none"> ・中間純利益(774百万円)
社 債	13,000	13,000	—	
長期借入金	6,707	8,829	△ 2,121	
退職給付引当金	4,603	5,416	△ 812	
その他	5,967	5,813	154	
負債合計	109,433	113,833	△ 4,400	
少数株主持分	2,076	2,084	△ 7	
[資本の部]				
資 本 金	14,353	14,353	—	<ul style="list-style-type: none"> ・中間純利益(774百万円)
資 本 準 備 金	13,249	13,249	—	
連 結 剰 余 金	4,451	3,715	735	
そ の 他	247	1,396	△ 1,149	
資本合計	32,301	32,714	△ 413	
負債、少数株主持分及び資本合計	143,811	148,633	△ 4,821	

4

連結損益計算書の変化要因

(単位:百万円)

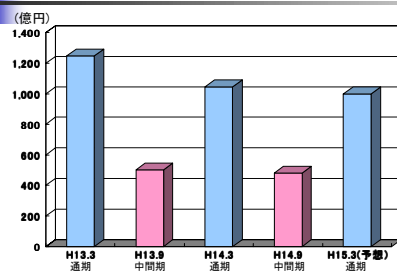
	当 中 間 期 (平成14年9月期)	前 中 間 期 (平成13年9月期)	増 減	主 な 増 減 の 内 訳
売 上 高	60,966	60,879	87	・連単倍率1.79倍←1.65倍
売 上 原 価	48,339	47,798	541	
売 上 総 利 益	12,626	13,080	△ 454	・日本電池の利益減 (△2,438百万円) ・統一グループの利益減 (△336百万円) ・ジェイス・ルコテックの利益増 (2,411百万円)
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	13,654	13,674	△ 20	
営 業 損 失 (△)	△ 1,027	△ 593	△ 434	
営 業 外 収 支	△ 17	△ 709	691	・日本電池営業外收支改善 (483百万円)
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)	△ 1,044	△ 1,302	257	
特 別 損 益	2,879	△ 33	2,913	
税金等調整前中間純利益又は純損失(△)	1,834	△ 1,336	3,171	・ジェイス・ルコテックの利益増 (2,368百万円×63.3%) ・日本電池の利益増 (580百万円) ・統一グループの利益減 (△401百万円×80%)
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	231	388	△ 156	
法 人 税 等 調 整 額	698	△ 285	983	
少 数 株 主 損 失	130	△ 648	778	
当 期 純 利 益 又 は 純 損 失 (△)	774	△ 791	1,565	

5

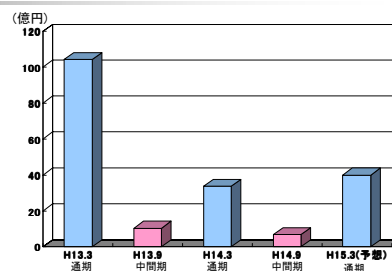
事業セグメント別業績推移

①蓄電池・電源部門

[売上高]

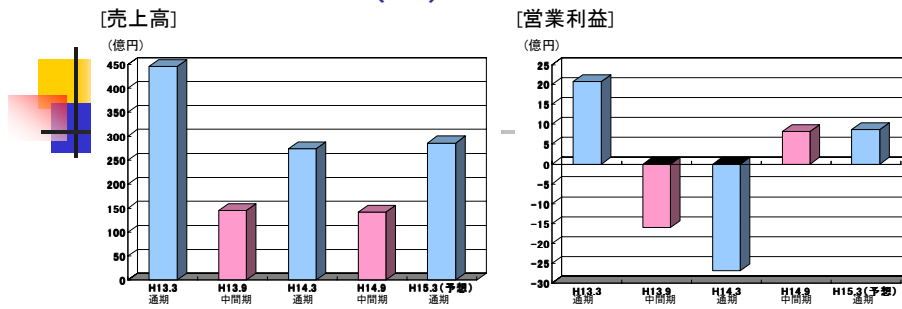


[営業利益]

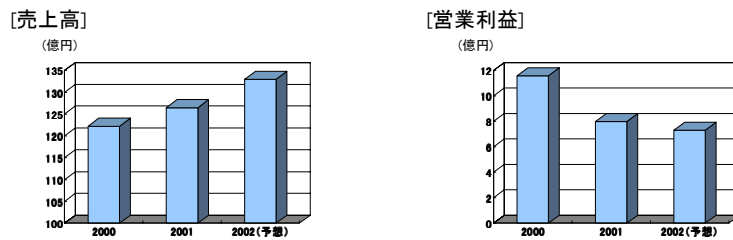


6

ジーエス・メルコテック(株)の業績

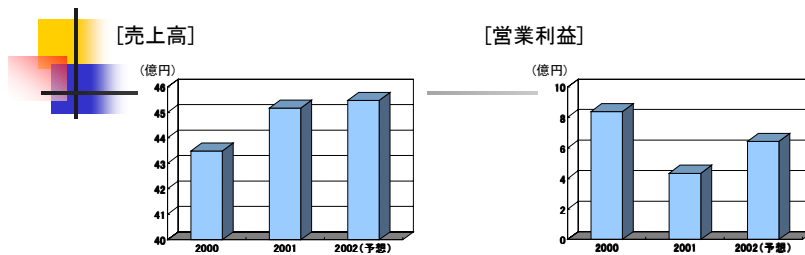


統一グループ(台湾・中国)の業績(通期)

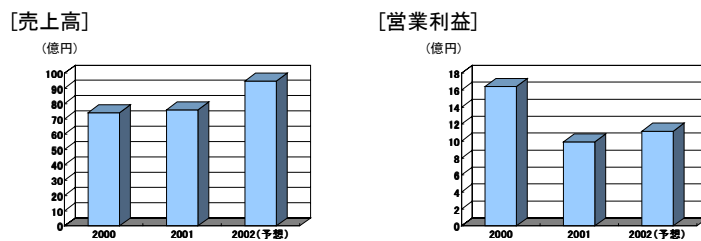


7

SIAM GS(タイ)の業績(通期)



P.T.GS(インドネシア)の業績(通期)

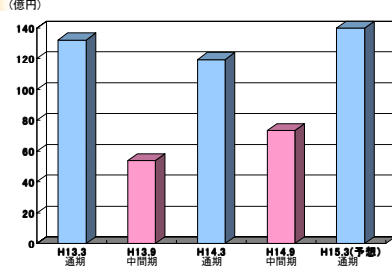


8

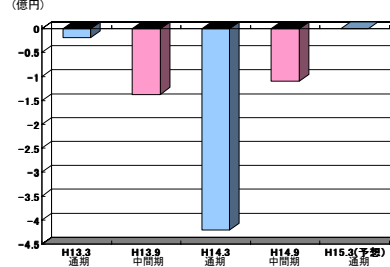
事業セグメント別業績推移

②照明器・特機部門

[売上高]

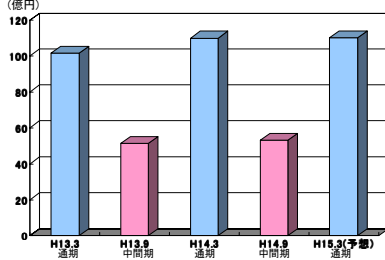


[営業利益]

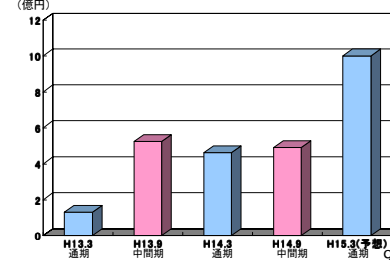


③その他部門

[売上高]



[営業利益]

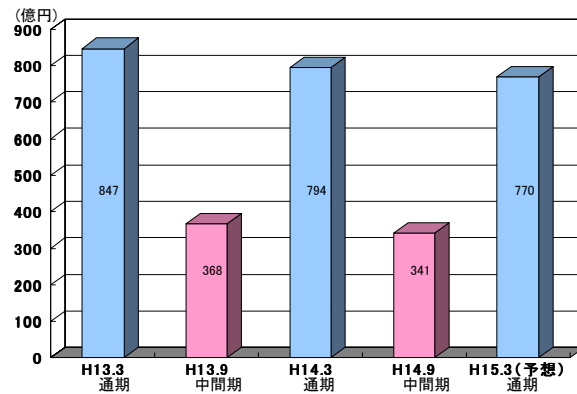


平成15年3月期中間単独決算概要

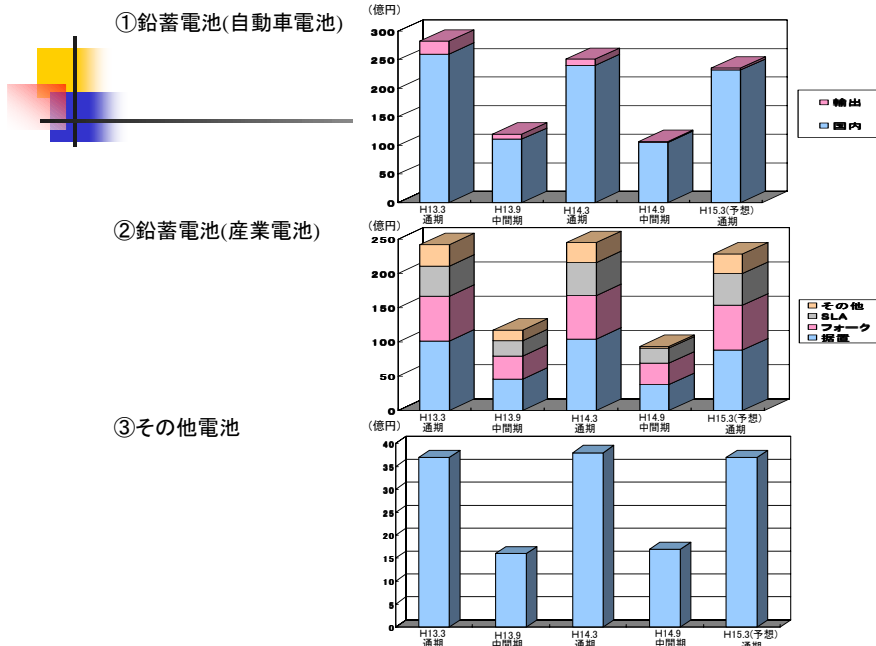
(単位: 百万円)

	当 中 間 期		前 中 間 期		増減額	増減率	通 期 予 想	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	金額	構成比
売 上 高	34,106	100.0%	36,876	100.0%	△ 2,769	△ 7.5%	77,000	100.0%
営 業 利 益	△ 2,182	△ 6.4%	256	0.7%	△ 2,438	—	△ 1,000	△ 1.3%
経 常 利 益	△ 1,786	△ 5.2%	169	0.5%	△ 1,955	—	△ 500	△ 0.6%
当 期 純 利 益	684	2.0%	104	0.3%	580	—	0	0.0%

業績推移(売上高)

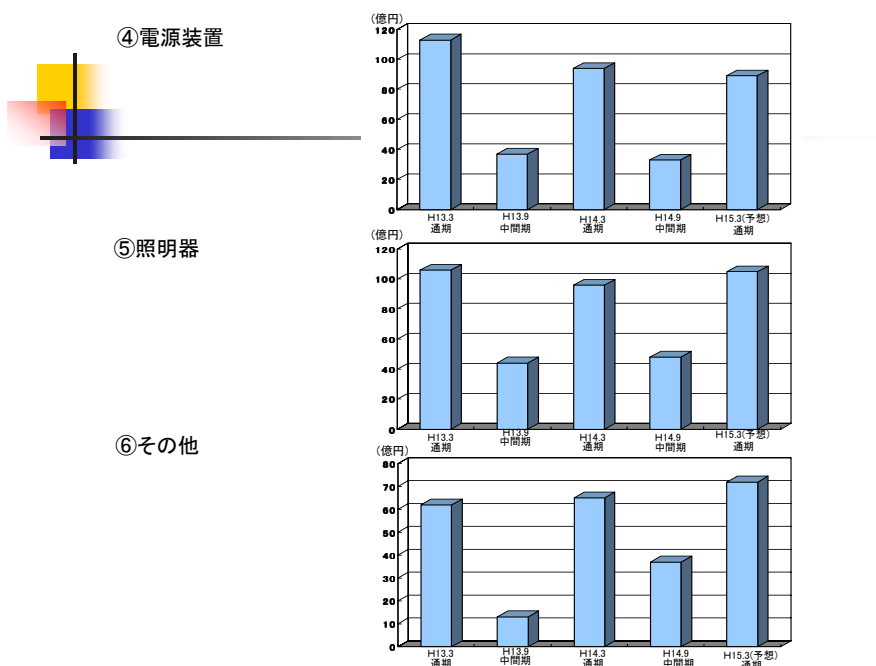


[単体]部門別売上高推移①



11

[単体]部門別売上高推移②



12

事業再構築 背景

基幹事業の構造的不振の深刻化

1. 自動車用電池

- ・崩壊しつつある日本独自の市場構造への対応
- ・自動車メーカーの世界的再編に伴うグローバルな競争への対応

2. 小形リチウムイオン電池

- ・競争環境の激化
- ・深刻なアプリケーションの伸び悩み

13

事業再構築②

三洋電機と、日本電池の合併事業(1)

ジーエス・メルコテックへの三洋電機の経営参加

1. プロセス

- ①三菱電機保有株の取得(日本電池の100%子会社)
- ②三洋電機へジーエス・メルコテック株式51%譲渡
10月3日 基本合意発表
12月中旬(予定) 株式譲渡契約の締結

2. 狙い

技術開発力や生産技術力をもって世界をリードしていく競争力あるトップ企業への飛躍

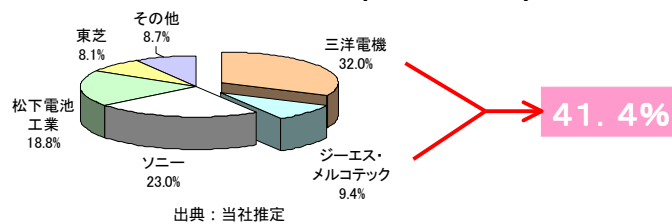
14

事業再構築③ 三洋電機と日本電池の合併事業(2)

ビジネス構造の異なる小形リチウム イオン電池事業の本体からの切り離し

1. 競争力のある関係会社の誕生

<リチウムイオン電池の国内販売量シェア(2001年度)>



2. リチウムイオン電池のコア技術を継続し、発展させる (49%の株式保有)

15

事業再構築 事業再構築計画の策定

1. 期間

2004年3月まで

2. 目標

2004年3月期

単独経常利益10億円以上確保

3. 骨子

組織体制の改革

事業構造の改革

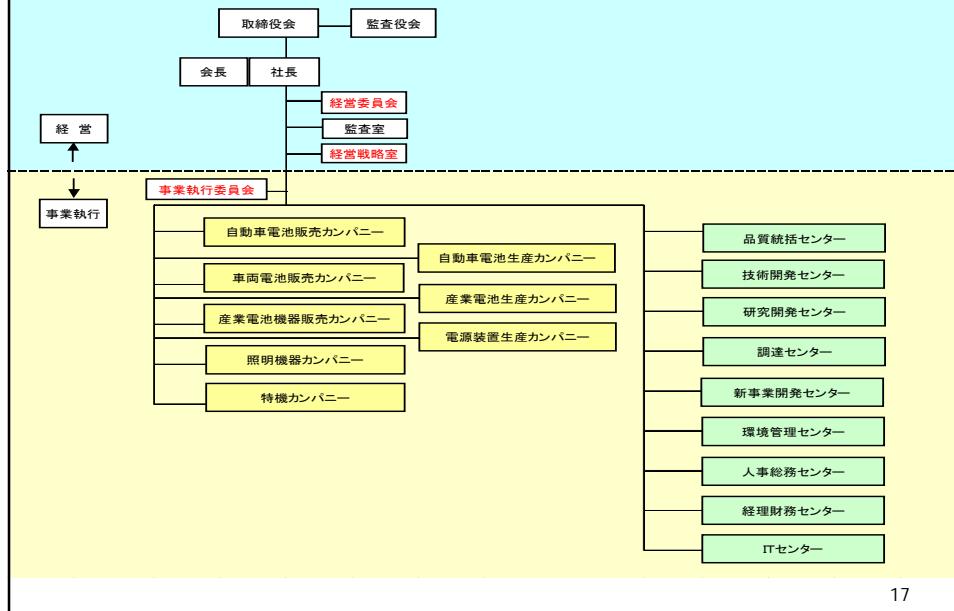
総コストの改革

財務体質の改善

16

事業再構築⑤組織体制の改革～組織図～

(2003年3月実施)



17

事業再構築 事業構造の改革

「筋肉質」で「スピード」のある事業体への改革

1. 事業の選択と集中

不採算の事業・商品の縮小や撤退
収益性の高いコア事業・得意分野の強化

2. 業務の効率化と組織のフラット化

カンパニーの管理・間接部門の20%効率化
カンパニーのコミュニケーションパスの短縮化
海外事業、成長分野、新商品・新技術開発分野への資源の重点投入

3. 営業力強化

ブロック別販売会社の強化と当社本体販売組織のスリム化
海外市場への拡販

18

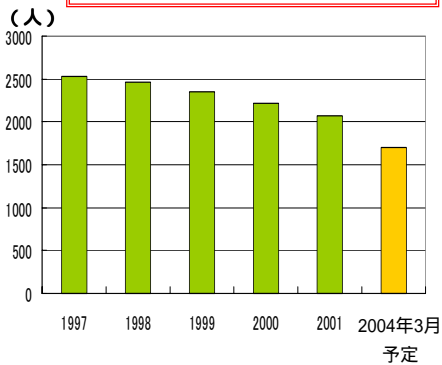
事業再構築 総コストの削減

1. 部材調達コストの大幅削減
2. 外注加工費の削減
3. 海外生産拠点からの部品調達の拡大
 - ・2004年3月期に年間100万個の自動車用電池を調達
4. 請負、派遣社員の削減・効率化
5. 人件費削減
 - ・希望退職者(200名程度)の募集
6. 物流費削減
7. 経費削減強化

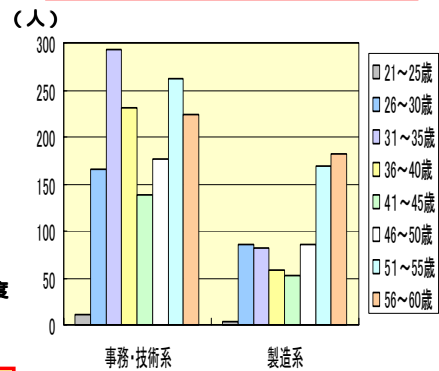
19

事業再構築 人件費削減

過去5年間の従業員数推移
(単体)



職種別年齢構成グラフ
(2001年3月31日現在)



2001年度末の人員：18%減(1997年度末比)

20

事業再構築 財務体質の強化

1. 資産圧縮

- ① 売上債権の流動化
- ② 棚卸資産の削減
- ③ 保有株式の売却
- ④ 遊休資産の整理、活用

2. 借入金の削減

	2002年 3月末実績	2004年 3月末目標
連結	738億円	450億円
単独	436億円	300億円

21

新体制の基本方針(2002年7月2日 決算説明会)

1. 短期的な業績回復を目指し、可能な限りの施策を講じる

- ・ 購買費、人件費の抜本的な見直し
- ・ 合理化のさらなる推進

2. 自動車電池分野でアジアNo. 1企業としての地位を確立する

- ・ 中国進出の加速化～天津強化
- ・ 柔軟なアライアンス戦略の展開

3. 高い技術力に基づくバランスの取れた事業ポートフォリオの構築

「CREATE - 21計画」の完遂

- ・ ジーエス・メルコテックの体質強化
- ・ 大形リチウムイオン電池事業の強化
- ・ 産業電池事業の強化
- ・ 燃料電池など技術開発の強化

22